

会 議 録

1 会議名

令和7年度第2回八千浦区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的な審議】

・海岸線視察の振り返り（公開）

3 開催日時

令和7年7月23日（水）午後6時30分から午後8時05分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

・委 員： 笠原（武）副会長、笠原（幸）委員、木南委員、佐藤委員、平野委員、古岡委員、柳澤委員、渡邊（修）委員、渡邊（裕）委員（欠席者3名）

・事務局： 北部まちづくりセンター 内藤所長、勝島副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【勝島副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【笠原（武）副会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：佐藤委員、平野委員に依頼

議題【自主的な審議】海岸線視察の振り返りについて、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・資料No.1 「第2回八千浦区地域協議会資料」

資料No.2「海岸線の現状と取組の整理表（八千浦区地域協議会視察研修の振り返り）」
に基づき説明

これから、視察を通して考えたことや気づいたことを、全体で共有していきたい。

【笠原（武） 副会長】

ただ今の説明に対し、疑問や意見はあるか。

一人一人、6月26日の海岸線視察について感想を述べていただき、それを参考にして次の段階に進みたいと思う。木南委員から一言ずつ意見や感想を述べていただきたい。

【木南委員】

クリーン活動の後だったので、意外ときれいだったと思う。平日で雨天だったせいか、釣り客も少なかったし、あまり人もいなかった。

私が印象に残ったのは海岸線に設置されている、小さな赤い鳥居である。なぜか赤い鳥居があるところにはごみが捨てられていないように見えた。その効果を狙うわけではないが、今後ごみを捨てさせない対策の1つの参考になるのではないかと思う。

【佐藤委員】

東北電力(株)上越火力発電所を見学したときに、「火力発電所が発電量の調整役。太陽光や水力で発電できている時間帯は、火力発電での供給を減らすなどの調整を行っている」という話があったので、余っている電気があるのなら、八千浦区の海岸線に電灯をつけるようなことをしてもらえばいいのではないかというアイデアが浮かんだ。

西ヶ窪浜には海岸線にトイレがあり、他の海岸線のトイレに比べるときれいに使われているように感じた。人間はそういうところに行くと、トイレが必要になってくるので、メンテナンスすることも大変だと思うが、ほかの地域でもトイレの設置を考えながら話を進めてはどうかと思う。

【柳澤委員】

海岸線を通して言えることだと思うが、「ポイ捨て禁止」の看板を立ててそれきりで古くなっていたり、側道の草が伸び放題であったりしているところを見てきた。手入れされていない藪にごみが捨てられやすい。誰かが管理しているということを見せれば、ごみは捨てられにくくなると思う。

【笠原（幸） 委員】

先日、7月21日は海の日であった。地域協議会委員として、数年前も海岸線視察、意見交換を行ったことがあるので、あれから私は何か海岸線美化について努力しているか

考えた。自問自答する中で「なぜ海岸清掃を行わなくてはいけないのか、何のためにやっているのか」という原点にまた考えが戻った。

というのは、黒井から始まって西ヶ窪までの八千浦の海岸は、海水浴場にはなっていない。釣り客が訪れているが、波打ち際で海のレジャーを楽しめる海岸ではないように思う。何のために海岸清掃をやるのかと考えたとき、お客さんが来るからやるのか、昔は漁師がいて魚を捕ったりしていたから浜の人たちがきれいにしていたようにも思うが、もう漁師もいないし、何のために海岸清掃をやるのか、再度考えないといけないと思う。

【渡邊（修）委員】

海岸線視察当日は参加できなかったが、今の皆様のお話を聞いて、地元には海があることは地域住民にとっていいことなのか、悪いことなのか、非常に悩ましいところだと思った。結局はごみを捨てていく個人のモラル、マナーが一番の元手になるのではないかなと思うし、海をきれいにしていきたいと心の中では重々思っているが、町内会で休日ボランティアとしてクリーン作戦に参加することを負担に感じている人もいるだろうし、なかなか難しいところが見えている。

今ほど、柳澤委員もおっしゃっていたが、管理していることを見せていくことは、地域の協力が大変ではあるが、いろいろと手は考えておかなければいけないと思った。

【平野委員】

視察の日の海岸線のごみについては、各団体、グループなどが、美化クリーン活動等を実施した直後だったと聞いているので、一部ごみはあったが、全体的にはごみがほとんどなかった。平均してみれば、ごみが少なかったという感想である。

私には、海岸線道路側面の木の枝や草が目に残り、なんとかならないかと思った。道路脇1mぐらい草を刈れば、見た感じが大きく変わってくると思う。今日も通ってきたが、草が伸びて車がすれ違うにもやつのところがある。道路から1mくらい、黒井から西ヶ窪まで刈れば、見た感じがガラッと変わってくると思う。

美化活動として、ごみ拾いも重要で大切なことだが、それ以前にごみを落とさせない、ポイ捨てさせない工夫、対策を考えてみたい。その辺がなんとかなれば、あとは外国から流れてくる漂着ごみだけが残る、それはどうにもならないことだと思うが、まず、八千浦の海に訪れた人にごみを落とさせない、ポイ捨てさせない工夫、対策をなんとかしたいと感じた。

上越市でISO14001を取得されていたと思う。市の環境保全活動に、八千浦地

区の海岸線の保安林や、美化活動が入っているのか確認したい。八千浦海岸線のクリーン化を、なんとか活動の中に取り入れていくことができないか確認したい。

【渡邊（裕）委員】

視察で、たくさんの活動によって、海岸線がきれいに保たれているということがよくわかった。私が思ったのは、先ほど笠原委員もおっしゃっていたが、なぜ海岸清掃するのか、せっかく海岸清掃に力を注いでいるのに、八千浦区の良さとしてその海を活用していないことがもったいないと思いながら視察をしていた。

私は海に愛着をもっている。その目線で考えてしまうのだが、「海のある環境が好き」「海があることによって八千浦を気に入ってくれる」という考え方で、海を活用していくことが、増えてきている空き家の問題や子どもが減少しているといった地域の課題解決につながっていくのではないかと期待している。夏の直江津の船見公園へ行くと、夕日を見て楽しんでいる若者がとても大勢いらっしゃる。商売をする、金儲けをするといったことではなく、直江津のように、八千浦のきれいな海岸に人が集まってきてくれるということが、まちの活性化につながっていかないかということを期待している。

もう1つ、東北電力の方が県外からたくさん働きに来てくださっているのに、空き家がたくさんある八千浦に住んでくれていないということが、すごくもったいないと感じた。子どもが通う幼稚園の保護者には、東北電力関係の仕事で愛知県や三重県等から上越に転勤してきたが、住んでいるのは頸城や直江津であると聞いた。八千浦にアパートがないということもあるが、八千浦にたくさんある空き家を活用する機会になるのではと思っている。

八千浦地区は小さいまちで、人口がだんだん減っていくのが見えている。海岸清掃のその先にあること、きれいな海の活用を考えていけたらと感じた。

【古岡委員】

当日は、参加できず申し訳なかった。

木南委員がおっしゃった海岸線の小さな鳥居については、2月ぐらいにこの地域協議会でも話題にし、八千浦中学校PTA会長の立場で学校に鳥居作りをお願いして許可をいただいた。総合の授業でやると言っていたが、その後の進展がない。後援会から、お金を使っていいということで、鳥居の材料やペンキ等、全部許可をいただいて進めたはずだが、その後の進展がわからない。海岸線だけでなく、下荒浜も跨線橋があり付近にポイ捨てされるので、なるべく鳥居を多く作って、いろいろなところに設置して、

ごみを捨てさせない注意促したい。鳥居があると、人はごみを捨ててはいけない、神様が見ているとなると思うので、八千浦地区でも小さい努力でもやっていけたらと思うので、また学校に伝えてみる。

【笠原（武） 副会長】

資料No.2の最後に、下荒浜という欄を付け加えさせていただいた。下荒浜から西に関しては、海岸線はほとんどないが、道路の広がっているところにごみが集中する。年2回拾っている。そのほかに荒浜は、一番大々的にやっているのは、国道8号線沿いのクリーン活動。海岸はないが、国道沿いの町内会は海沿いの町内会の皆さんと同じようなクリーン活動をしているということをここでご報告させていただく。

【丸山主任】

資料No.1の4ページに進む。

皆さんから感想をいろいろお話いただいているが、笠原委員や渡邊（裕）委員がおっしゃったように、改めて「なぜ海岸清掃を行わなくてはいけないのか、何のためにやっているのか」の整理が必要だと感じている。活動の意欲にもつながることなので、地域協議会としてどう考えていくのか、皆さんの考えをお聞きして、今後は、1つの方向、地域協議会としての考えをまとめていきたいと思う。同時に、平野委員からお話があったが、「ごみを捨てさせない工夫、具体的な対策のアイデア出し」を行う。例えば、今赤い鳥居のお話をいただいたが、そういうことも浮かんできていらっしゃると思うし、もっと知りたいこと、ほかの地区はこういうことをどうやっているのだろうかといったことも出てきているのではないかと思う。

今日はこれからグループに分かれて、皆さんでお話をしながら、この2つのことについて考えを書き出すような作業を行いたい。今後は、今日いただいた意見から、見に行きたい事例の整理や、八千浦に暮らす皆さんとの意見交換の準備を進めていきたいと思う。

・資料No.1の5ページ「(参考) 地域で海岸清掃を行う意義」 6ページ「(参考) 海岸線のポイ捨てを防ぐ工夫」に基づき説明

ふせんに書き出す作業は事務局が行うので、視察に行ってきた感想や資料を踏まえ、自由にお話しいただきたい。今日は、結論を出すわけではない。

【木南委員】

1つ確認したい。先ほど平野委員がおっしゃっていた道路の草刈りについては、私も

気になっている。管理者を確認してほしい。

【丸山主任】

道路の草と砂の管理については調べる。今日は皆さんから草が伸びていて、通行するのが大変だというご意見を聞いた。

【平野委員】

道路を管理している機関に、要望していくということだと思う。

一方で西ヶ窪の町内にある保安林も県の管理だが、先日、ボランティアが活動されていた。なぜ、ボランティアがやるかという、県が動かないからである。管理する機関が「分かりました」と言っても、実現するのは随分先である。その辺りを考えると、機関に要望するばかりではなく、別の方法を考え動く必要もあると思う。

【渡邊（裕）委員】

視察のときに、大潟区渋柿浜でも同じことをおっしゃっていたと思う。管理する機関の指示を待っていては対応が遅く、自分たちで動いた実績があるとお話されていた。

ー グループに分かれ意見交換 ー

【笠原（武）副会長】

グループに分かれての意見交換は、手元のふせんの数を見ると、十分に意見が出されたものと見ている。皆さん考えておられることもあると思うが、その辺は、また目を通して、あるいは目を広げて、いろいろな状況を確認していただきたいと思う。

次第4 その他、事務局から何かあるか。

【丸山主任】

地域独自の予算事業の令和8年度の事業提案が、継続事業は9月末まで、新規事業は8月末までとなっている。この予算の活用を考えている団体があれば、私たちまちづくりセンターに相談するようつないでほしいと思う。

【平野委員】

継続事業とはどういうことか。

【丸山主任】

地域活動支援事業から続いている事業は、補助割合が10分の9ということで、継続事業としているものである。

【古岡委員】

少し気になっていることがある。何年か前に中学校の体育館の屋根について、地域協議会が関わって予算化されたと思うが、何か進展等があれば教えてほしい。私はPTA会長でもあるので、たまに地域の人から「まだ雨漏りが直っていない。いつ工事されるのか。」と聞かれるが、中学校の先生に聞いても分からないということである。

事務局に工事の進捗を確認してほしい。状況を知ることができるし、子どもたちにも言える。今は雨が少ないのでいいが、土砂降りになると雨漏りがひどい。子どもたちの安心、安全もある。20か所くらい雨漏りしている。

【笠原（武）副会長】

一応体育館の屋根修繕をやることは決まっているが、校舎のエアコンの設置とトイレの方が先に予算化され、校舎の工事が昨年終わったようである。

【平野委員】

地域協議会で意見書を出したものが遅れているというのは、我々としては納得できない。雨漏りを最優先にしてほしい。けがをしたらどうするのか。どこが責任を持つのか、そんな話まで出た。子どもたちや町内で借りて卓球等、運動をやっているときに、雨漏りで滑って転んだら誰が責任を持つのか。

【笠原（武）副会長】

避難所にもなっている。事務局は中学校体育館屋根の修繕について進捗状況を確認してほしい。

ほかに意見を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。